

その他の文化芸術イベント

2015年は東アジア文化都市として、新規事業はもとより既存の多彩な文化イベントにも中国、韓国の文化芸術の要素を加えるなどして国際的な取り組みとし、年間を通じて豊富なラインナップで事業展開しました。



東儀秀樹

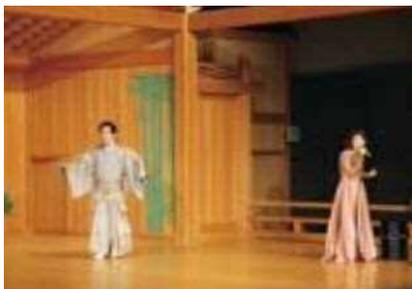
狂言、落語、歌舞伎、三味線、太鼓、浄瑠璃等、一流を気軽に楽しめる和の祭典「アート・ミックス・ジャパン」。普段は敷居の高い和の伝統芸能を、お手軽な価格で気軽にはしごできるこのイベントも3年目を迎え、晴天にも恵まれ前年度を越える集客となりました。

東アジア文化都市事業と連携した「東アジア文化都市プレミアムステージ」では、韓国、中国、日本の三国による公演を、フィナーレでは三国合同で日本の古くから伝わる童謡「さくら」を共演しました。一般の公演も歌舞伎、狂言、大田楽と日本のルーツを感じられる公演や、能と歌のコラボレーション公演などを実施しました。

25日のラストの公演をかざった東儀秀樹氏は解説を交えた分かりやすい公演を行い、26日の最終公演の吉田兄弟は三味線2本だけの公演で会場を盛り上げました。

また、劇場公演、コンサートホール公演の開場時間に行った無料公演も好評となりました。

開催日	2015/4/25(土)～26(日)
会場	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 燕喜館 旧小澤家住宅 行形亭 鍋茶屋 新潟駅南口広場 白山公園空中庭園
来場者数	14,127人
出演者	【東アジア文化都市プレミアムステージ】 中国・山東歌舞劇院 韓国・クク・スホ・ディディム韓国伝統舞踊団 日本・狩野泰一、宮本貴奈 ほか
主催	アートミックスジャパン 2015 実行委員会
共催	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



麻衣（歌）・梅若紀彰（能）



クク・スホ・ディディム韓国伝統舞踊団



山東歌舞劇院



みなとびあプロジェクトマッピング

今年で2回目となる「みなと新潟春フェスタ 2015 ～光の響演～」。みなとびあプロジェクトマッピングは、東アジア文化都市をテーマに実施。今年は新たにレーザー照明を導入し、光と映像の融合により幻想的な空間を演出しました。また、Noism2 とのコラボレーションでは、東アジア文化都市交流事業の一環で Noism に合流中の韓国舞踊家イム・ウビンの来日後初出演となりました。このほか、アーティストステージでは日中韓のアーティストが会場を盛り上げたほか、会場周辺の萬代橋やみなと・さがんなどの水辺空間をイルミネーションや光のオブジェなどで空間演出し、多くの方を魅了しました。また、県民会館プロジェクトマッピングでは、ラ・フォル・ジュルネ新潟 2015 のテーマ「バシオン～恋する作曲家たち～」を映像アートで表現しました。

開催日	2015/4/29(水・祝)～5/10(日)
会場	新潟市歴史博物館みなとびあ ほか
来場者数	133,500 人
出演者	【プロジェクトマッピング× Noism2 コラボ公演】 Noism2 【日中韓アーティストステージ】 日本・Yucca(ユッカ) 韓国・NU'EST(ニューイースト) 中国・中国芸術ショー
主催	新潟市
共催	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



Noism2 コラボ公演



光で演出したファンタジーゾーン



県民会館プロジェクトマッピング



0歳からのコンサートでオーケストラとダンサーが共演

テーマ：パシオン～恋する作曲家たち～

赤ちゃんからクラシックファンまで、誰でも楽しめるクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」。

この音楽祭は、新潟市と姉妹都市であり、創造都市の世界的なトップランナーであるフランス・ナント市で1995年に誕生し、今までのクラシックの常識を覆した、まったく新しい音楽祭です。

今年は、中国の楽器・二胡や、韓国の伝統芸能・パンソリといった中国や韓国の文化の要素が加わり、より国際色豊かなプログラムをお届けしました。

開催日	プレ公演：2015/4/26(日)、本公演：2015/5/8(金)～10(日)
会場	りゅーとびあ(コンサートホール・劇場・能楽堂)、燕喜館、旧齋藤家別邸、旧小澤家住宅
来場者数	95,595人
出演者	【日中韓アーティスト】 中国・姜建華(二胡) 韓国・ペ・イルドン(歌手)、キム・ドンウォン(鼓手) 日本・史佳 Fumiyoshi(三味線) ほか
主催	ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭実行委員会
共催	「東アジア文化新潟市 2015 新潟市」実行委員会



中国古来の楽器・二胡の演奏



韓国の伝統芸能・パンソリの公演



楽器体験も子どもたちに大人気



キム・ミョンゴン氏のトークショー

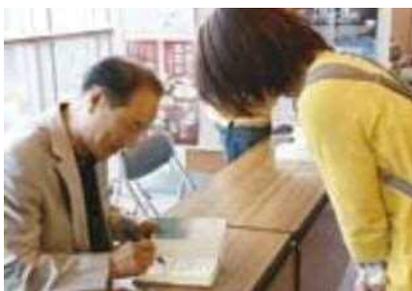
市民ボランティアの企画・運営により開催される「にいがた国際映画祭」。今年は、東アジア文化都市の一環（東アジア映画祭）として実施し、中国・韓国の作品を中心に、全 17 作品を上映しました。

初日のオープニング無料上映では、韓国の俳優キム・ミョンゴン氏のトークショーが開催され、トーク後のサイン会には多くの人が列を作りました。

2日目には、リム・カーワイ監督作品の一举上映に合わせて監督のトークもあり、監督の作品に対する考え方や、撮影時のエピソードなどをお話いただきました。

また、期間中には、日韓合作映画「ノーボーイズ・ノークライ」のロケ地を巡るバスツアーも行われ、全国から映画のファンが集まりました。

開催日	2015/6/20(土)～21(日)、6/27(土)～7/5(日)
会場	新潟市民プラザ、新潟・市民映画館シネ・ウインド ほか
来場者数	1,323 人
出演者	【トークショー】 俳優 キム・ミョンゴン 監督 リム・カーワイ
主催	にいがた国際映画祭実行委員会
共催	新潟市・(公財)新潟市国際交流協会・駐新潟大韓民国総領事館・韓国文化院・「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



キム・ミョンゴン氏のサイン会



リム・カーワイ監督のトークショー



日韓合作映画「ノーボーイズ・ノークライ」のロケ地を巡るバスツアー

新潟ジャズストリート

イ



観客でにぎわうライブ会場

まちなかのお店やコンサート施設などがライブ会場となり、地元ミュージシャンや遠方からのゲスト・ミュージシャンが集まって、様々なスタイルの JAZZ とその周辺の音楽の演奏を繰り広げる「新潟ジャズストリート」を開催しました。フリーパスチケットで全会場を自由に出入りでき、この一日、新潟の街は「音楽の街」になりました。今年は、中国と韓国からのミュージシャンも参加して、音楽による交流が行われました。

開催日	2015/7/18(土)～19(日)
会場	音楽文化会館 ほか
来場者数	7,450 人
主催	NPO 法人新潟ジャズストリート実行委員会、新潟市
共催	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



日中ジャムセッション



観客を魅了する韓国のジャズバンド



34 点のモンゴル書道作品を展示

B. アルタントヤ「Muchir (枝)」

北東アジアの広大な高原の国、モンゴルには独自のモンゴル文字があります。これは 13 世紀頃ウイグル文字から派生した文字で、日本と同じく書道作品も制作されています。

新潟で 34 点ものモンゴル書道作品が紹介されるのは初めてだったこともあり、大きな関心を集めました。初日に駐日モンゴル国大使をお招きして開催したオープニングセレモニーでは、「これを契機としてモンゴルと新潟との友好が深まるよう祈念する」と大使が期待を述べられました。

日本在住モンゴル人による民族音楽の演奏も披露され、来場者は遥かな草原の国の情景を思い浮かべながら聴き入っていました。また、在住モンゴル人が提供した乳製品とミルクティーの試食・試飲コーナーでは、素朴な味覚に舌鼓を打ちながら原料や製法の説明を受けていました。

開催日	2015/9/12(土)～30(水)
会場	知足美術館
来場者数	622 人
主催	新潟市
共催	駐日モンゴル国大使館、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



オープニングセレモニーで挨拶する駐日モンゴル国大使



馬頭琴奏者の演奏



民族音楽アンサンブルによるアトラクション

日中韓踊りと食の文化交流

イ



済南市民間舞踊団



ウルサン市伝統文化芸術団

中国・済南市民間舞踊団と韓国・ウルサン市伝統文化芸術団が9月19日・20日「にいがた総おどり祭」に出演。2日間で済南市が2回、ウルサン市が3回公演を行い、中韓固有の踊りにより国際色豊かな彩りを添え、イベントを盛り上げました。20日には江南区文化会館でも「中国・韓国伝統文化ステージ」と題して公演を行い、約350人の来場がありました。また、19・20・21日の「にいがた総おどり祭」開催期間中、万代シティ2階会場で中韓料理の屋台が10店舗出店し、多くの市民が中韓の食文化を堪能しました。

開催日	2015/9/19(土)～21(月・祝)
会場	万代シティ2Fシーキューブ未来広場、古町6・7番町、江南区文化会館、万代シティ十字路メイン会場
来場者数	27,000人
受入団体	中国・済南市民間舞踊団 韓国・ウルサン市伝統文化芸術団
主催	新潟市
共催	「東アジア文化都市2015新潟市」実行委員会



中韓料理屋台が万代シティ2Fに出店



最優秀賞作品「環日本海・風習俗絵巻風」

まちなかのにぎわいを創出し、みなとまち新潟の歴史や文化が感じられる空間として魅力を高めようと、新潟市のメインストリートである榎谷小路と東大通に面したオフィスビルのショーウィンドー等に公募等により選考したアート作品 27 点を展示し、まちなかをアートで彩りました。

今年は作品テーマを「みなとまちにいがた～東アジアとつながるまち～」に設定し、日本・中国・韓国に関連した作品が寄せられました。

開催日	2015/9/26(土)～10/25(日)
会場	榎谷小路、東大通
主催	NIIGATA オフィス・アート・ストリート実行委員会
共催	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



優秀賞作品「Cloudy day」



優秀賞作品「グラスストーリー」



路上プレゼンテーションによる公開審査



中韓陶磁器 115 点を展示

愛知県陶磁美術館は、中国や韓国の陶磁器コレクションや世界各地の優品を多く所蔵しています。本展覧会では、紀元前 3 千年頃の中国陶磁から 20 世紀の韓国陶磁に至るまで約 5 千年分の中韓陶磁器から選りすぐりの作品 115 点を展示することにより、東アジア地方の文化の魅力を紹介しました。あわせて北方文化博物館では、連携事業として同博物館所蔵の中国陶磁などを展示。本展との相互入館割引を実施しました。

開催日	2015/10/24(土)～12/6(日)
会場	新潟市新津美術館
来場者数	4,679 人
主催	新潟市
共催	新潟日報社、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



貴重な陶磁器を鑑賞する来場者



記念講演会「中国と韓国の陶磁の魅力」

開催概要

オープニング

国際大会・

水と土の芸術祭

こどもの交流

3都市相互の

新潟市独自の文化

その他の文化

その他の

クロージング

関連事業

フレンドシップ

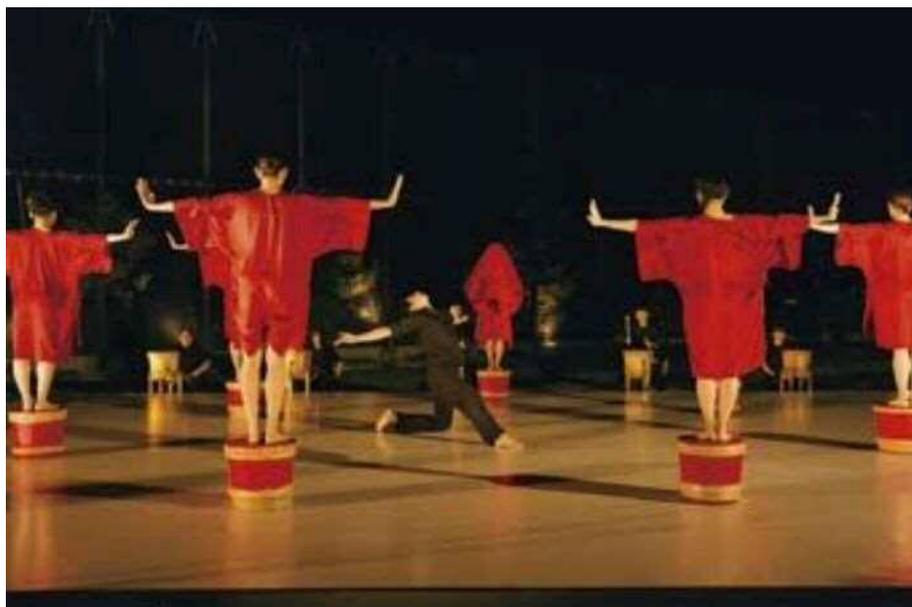
広報活動

外国人誘客促進

資料編

韓国舞踊家レジデンス・プログラム

イ



Noism2 × 永島流新潟樽砵伝承会「赤降る校庭 さらにもう一度 火の花散れ」
水と土の芸術祭 2015 参加作品

Photo: 村井勇

今最も韓国で活気があり、将来有望な舞踊家が多く集まる若手振付家コンクール（2014年11月に韓国・ソウルで開催）において、「東アジア文化都市／新潟 Noism 賞」が設けられ、その受賞者にイム・ウビンが選ばれ新潟市に招かれました。イムは2015年3月から12月まで新潟市にレジデンスして、Noism2のメンバーとともにレッスン、リハーサルなどの活動に参加、4つの公演に出演しました。このたび日本、韓国それぞれの文化環境において育まれた若いアーティストが、10ヶ月間にわたり交流を重ねることにより、相互に刺激し合うことで、舞台芸術に対する考え方を再認識する貴重な機会になりました。

活動期間	2015/3～12月
来場者数	9,000人
主催	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
共催	「東アジア文化都市2015新潟市」実行委員会



みなと新潟春フェスタ Noism2 × プロジェクト
ジョンマッピング「Kiss Of Light」



Noism2 定期公演「Painted Desert」(再演)
Photo: 村井勇



イム・ウビン

1年間 Noism は私に多くの変化を与えてくれた。
Noism は私の舞踊人生のターニングポイントになったと思う。私に足りなかったところを充分に変化させ、より成長するきっかけをつくってくれた。Noism カンパニーではバレエが基本だ。
韓国はバレエを基本動作に求めないため、最初は私にとって Noism のトレーニングは本当に難しく、大変だった。しかし、時間が経つにつれて踊ることの大切さ、ありがたさ、そして楽しさを感じながら踊れるようになった。本当に私の考えと気持ちを変えてくれた。
今まで踊ってきて初めて抱く感情もたくさんあった。私がどれほど踊ることを愛しているのか気づかせてくれたのが Noism だった。また機会に恵まれれば再び Noism で活動したい。
新潟市もまた私にとってすごく良い思い出をつくってくれた。
親切な人たち。きれいで静かなまち。私がすごく好きなタイプの都市だ。
今、目の前には重要な兵役免除の国際コンペが控えている。
(コンペの年齢制限には) 2年の余裕があるが、今年兵役免除が決定したら、私はすぐ Noism に戻りたい。
私の踊りのスタイル、私の気持ち、すべてのことに変化を与えてくれた穰さんに感謝しながら、なぜ皆が彼を尊敬するのか、私もその理由がわかった。一日も早く兵役免除を受けて、Noism に帰りたい。

イム・ウビン

総おどり体操（シニアはつらつにいがた総おどり事業）

イ



イベント参加「にいがた総おどり祭」

新潟市の踊り文化を生かして制作した「総おどり体操」の体験会等を公民館や健康センター等で行うとともに、「にいがた総おどり祭」において、パパイヤ鈴木さんと一緒に踊ることで、高齢者が踊り文化に触れながら、健康づくりや生きがいがづくりに積極的に取り組める機会を提供しました。また、イベントにおいて、大勢の観客の前で体操を披露することで、健康寿命の延伸という社会的な課題を文化を活用して解決しようとする取り組みの魅力を国内外に発信しました。

開催日	体験会を各区で随時開催
会場	市内各所
来場者数	3,222人
主催	新潟市
共催	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会



体験会などを各区で開催



イベント参加「アート・ミックス・ジャパン」



イベント参加「福島潟自然文化祭」